

第24回 DAAS運営委員会 議事要旨(案)

1. 日 時：2013年7月24日(水) 午前10時30分～午後12時15分

2. 場 所：ソーシャルインキュベーションオフィス SUMIDA セミナー室

〒100-0014 東京都墨田区本所 3-15-5 1階 Tel: 050-3786-0568

3. 出席者(敬称略 順不同)

国土交通省 : 武井企画専門官

ワカ設計室: 君塚和香氏

運営委員長 : 三塩 (日本設計)

委 員 : 末富委員 (住団連)、早川委員代理 安生氏 (日建設計)

真木委員、竺委員 (建築学会)、本多委員 (山下設計)

SIOS : 坪田 IM

事 務 局 : 武藤

4. 配布資料 :

資料1-「迎賓館の天井補修のデータ(報告書)」を DAAS で收藏する件について

資料2-Web コンテンツ作成支援金によるコンテンツ制作(案)について

資料3-アーカイブサービス(案)について

資料4-運営基盤の安定化について

資料5-その他お知らせ等

5. 議事 :

■報告事項

[議案1] 国土交通省営繕部の資料收藏について

資料1に基づき、国土交通省営繕部より依頼のあった、「迎賓館の天井補修のデータ(報告書)」の資料收藏、Web掲載について事務局より説明を行った。

■承認事項

[議案2] Web コンテンツ作成事業について

資料2及び国土交通省の「平成25年度住宅・建築物の先導的計画技術の開発及び技術基盤の強化に関する事業」の補助事業者より「優れた住宅・建築物のWebコンテンツの作成」に関しての説明を行った。

このうち、DAASインタビューの収録において協力を得る関東学院大学の説明を事務局より口頭で行い、バーチャルリアリティを使った空間データの制作については、

君塚氏よりデモンストレーション及び口頭での説明が行われた。制作するコンテンツの内容及び概算料金については、委員より承認を得られたが、その際以下のような意見交換が行われた

【以下、意見等】

(事務局:三塩) ヴァーチャルリアリティ、空間映像について少し特殊な機材を用いて、古い建築物や解体前の状態を保護・保全する活動をされている君塚氏に制作を御願いました。

(君塚氏) アングルを決めて撮影するということは一般的な建築写真、スチール写真と同じだが、より体感的に、写真をとっている背面側や側面はどのようになっているかということも重要であるのではないかとこのころに興味があり、パノラマ写真で精度のよりよいものを取り始めた、というのがこのようなコンテンツを制作し始めたきっかけである。作例を少しお見せしたい。芸大の明治時代の煉瓦造の建物をレストレションしたものを収録した。360度横方面、上下の画像、つまりその場にいる際の情報を一般的なデジタルカメラで撮影し、精度のよい合成をするという方法である。修復をする場合にも必要な情報が認識できるよう、詳細な部分も撮影ができる。これまで収録したものの例としては、施主の事情により解体されることになった吉村順三氏の作品を、見学会で施主の許可をとり収録したのものもある。庭、敷石等の様子、おさまりや割り付けを確認することもでき、また2階からの景色や、場面を切り替えながら部屋から部屋へウォークスルーするなどができるようになっている。各部屋を収録してあるので、収録した写真を合成する以外に、別途各部屋の平面図を起こして、Web画面に追加情報を掲載することができる。利点としては、カメラを設置することができれば小さな空間も収録ができ、一枚の写真からでは様子がわからない場所も空間把握として認識ができる。撮影は基本的には一人で行っている。手法は様々な所を収録しているグーグルのストリートビューと手法は同じであるが、収録したい場所を特定し撮影を行うというところが違いである。

(事務局:三塩) 収録したものはコンテンツのパッケージのような形で、現在デモンストレーションをして頂いたのと同様に再生ができるのだろうか。また、DAASのWebサイトでの操作も同じようにできるということだろうか。

(君塚氏) そのようにできる。基本的には、Webブラウザで閲覧する形なので特別なソフトは不要であり、操作も同じようにできる。また、コンピューターの画面と同様に、このコンテンツをiPad等のタブレット等での再生も可能である。その場合、実際にタブレット端末を持ちながら、向きを変える、上下を向けるなどの実際の動作にあわせて、上下左右の画面が変化し、その場にいるような空間把握ができる再生方法も可能である。その際、その場の音も画面と合わせて流すと、よりその場にいるという没入感を得られるようになる。このようなコンテンツ制作は、特に壊さ

れるもの、無くなるものなどについて価値がある情報なのではないかと思う。

(事務局：三塩) 特に個人宅等については収録ができて、公開の許諾はまた別になるだろうか。

(竺) 取り壊されるものにとっては非常によい。図面と写真しか残らないので。これまでに記録したデジタルデータなどは合成することができるだろうか。

(君塚氏) 基本的には同じ軸で撮影する必要があるのと同じように再生というのは難しいが、作り方で、コラージュのような形で再生ということであれば。

(竺) どの程度の焦点距離だろうか。

(君塚氏) 8ミリの魚眼で撮りショットを少なくしている。焦点距離が長ければその分、より細かい部分が撮影できる。それも世界では流行っている。ギガピクセルのパノラマで、例えばタワーの屋上から街を撮影し、他の建物の詳細も拡大すれば見えるというものもある。今回のコンテンツ制作について伺って、まずは何を収録するかということが重要であるのではないかと思う。現在の状態を残しておきたいもの、というものもあるかと思うが、当面、無くなってしまうものについて優先的に収録するのがよいのではないかと思っている。昨年公開されていた、世田谷の小住宅が3点あり、壊される予定である倉田邸の収録はどうだろうかと考えている。

(事務局：三塩) 補助金を頂いて制作するのにふさわしい収録の対象だと思える。君塚氏の制作者としての名前をつけて掲載をしたい。対象物をどのするか、が課題である。収録の内容についての確認、承認をとる必要はあるのだろうか。

(武井) 基本的にはないと思われるが、補助事業の再委託として「文化庁との連携をして」という必要がある。どちらかのコンテンツで文化庁、例えば国立近代建築資料館と何か連携したものをいれこんで頂きたいという話である。

(事務局) 例えば、アーカイブのことで資料館について安藤忠雄氏にインタビューを収録するなどはどうだろうか。

(竺) 資料館は受入する資料が確定した。問題は整理するシステム等が全く出来ていないことである。運営委員会以外に小委員会を設定し、企画・展示についての小委員会、収集についての調査と収録対象を決定する小委員会、資料の整理、基準の手順、項目等を決定する情報小委員会がある。DAAS に関係することとすれば、資料のデジタル化し、公開する際に協力してくという考え方である。展示については実物の展示以外にヴァーチャルの展示も考えられる。資料館では様々な事業を公募することになっている。建築学会に委託という形になったかと思う。

(事務局：三塩) デジタルアーカイブとして DAAS が入札に応札する形もあるが一般の企業が独自で手をあげることもあるだろう。

(武井) DAAS の場合、法人格がないのでどこかと組んでということになるのではないか。

(竺) その点が問題となっている。

(事務局：三塩) 文化庁の国立近代建築資料館との連携というのは DAAS の軸となるか

と思われるので、補助金事業でのコンテンツ制作、その他活動も絞り込んで行きたいと考えている。撮影対象物の選定、取り壊される建物の情報、公開ができるものであることなど、規模は住宅でも大きなものでも可能かと思うので収蔵をすすめたいと思う。資料のデジタル化で文化庁との連携とも考えられる。

(武井) DAAS-Web サイト上での公開であれば問題ないと思われる。

(事務局：三塩) この内容でよろしければ企画書として国交省に提出する。DAAS の期で言えば来期活動としてすすめたいと思っている。

(竺) JIA でも NPO 法人の設立を考えていることもあり、DAAS の法人化については是非検討して頂きたいと思っている。

(事務局) 法人化する場合は、総会に向けての準備も必要となるので、準備する場合も早期に検討したいと思っている。

委員会後の打合せ事項として追記

VR の収録対象として以下案があがっている

- 旧倉田邸 1955 年 吉田五十八設計 (取り壊しの可能性)
- 移転が決定している築地市場
- 存続の危機又は改築予定のホテル等 (例として新高輪プリンス 飛天の間、等)

※委員からの保全の危機にある建物等の引き続きの情報提供を御願いたい。

[議案 3] アーカイブサービスについて

資料 3 のアーカイブサービス (案) に関する説明を事務局より行った。資料の中の「2」費用 (案) については、口頭及び資料の投影にて、各作業の外注費、事務局内作業費、人件費等は、これまでの実績からの費用設定であることの補足説明を行った。DAAS-Web サイトには、サービス概要図、及びデジタル化の作業の中にどのような内容が含まれているかという説明も加え、詳細料金表等は掲載せず、見積もり依頼により料金を示す形となることで掲載することとなった。

[議案 4] 運営基盤の安定化について

資料 4 に基づき、運営基盤の安定化をする場合の委託もしくは統合先の案、各メリットデメリット等の整理を行っている旨を説明を行った。また、委託事業を行う上でも法人化の手続きについての準備等について説明を行った。

[議案5] その他

資料5に基づき、DAAS-Webサイトの連携企画の進捗報告、Webサイトのアクセスのページの進捗、町歩きの音声アプリの制作について、プロジェクターで資料を投影しながら口頭説明を行った。アプリについては広告掲載、もしくは有償とする場合のレベニューシェアの為に無料で制作できることを口頭にて説明を行った。

以上